

平成 30 年度湖西市総合戦略有識者会議 会議録

開催日時	平成 30 年 7 月 25 日（水） 14：30～16：20
開催場所	湖西市役所 3 階 委員会室
委員	（出席者） 15 人 （欠席者） 4 人 ※事務局 3 人
内 容	
1 開会	事務局 企画政策課長あいさつ
2 委員の紹介	新規で就任された委員の紹介
3 委員長あいさつ（竹田委員長）	<p>平成27年度からこの会議をスタートしましたが、総合戦略策定のときに企業に勤める委員の方に社員がどこに居住しているかを調べてもらったことがあります。市内に居住している方が25%、浜松市に居住し通勤している方が25%、豊橋市に居住し通勤している方が45%、その他の市町村に居住し通勤している方が5%というお話でした。今回、事務局からRESASの分析を提供していただきました。市内の生産性は非常に高い、これは自動車関連や電気機械などの優良企業が立地しているということが大きいと思います。それに対して分配をみると、市外への所得流出が大きいという結果が出ています。やはり市外から通勤してくる方が多いことが分かります。生産性が高いということで稼ぐ力はあるのですが、市外からの通勤者が多いということがRESASで裏付けられたというかたちです。こういうことを踏まえて総合戦略を策定したわけですが、2年半経過しまして、昨年度の取組について今回効果検証したいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
4 議事	<p>(1) 総合戦略事業の効果検証について</p> <p><事務局></p> <p>説明 資料1：湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業効果検証シート【平成29年度事業の評価】</p> <p>資料3：評価区分について</p> <p>資料4：湖西市将来人口推計グラフ</p> <p>資料5：委員からの意見に対する回答</p> <p>湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>

[基本目標1、2について]

(質疑・意見交換)

<野村委員>

資料1の1ページ「基本目標1」のK P I 施策②認定農業者数について、目標として農業者数を増やすというハードルの高い指標になっていると思うが、どういう見込みで平成31年度の最終目標値を設定したのか。仮に可能性があると思って設定したのなら、見込みが甘かったのかなと思うので見直した方がいいと思う。全体の評価について、工業については前向きな気持ちでいいと思うが、農業・漁業の振興については本格的に力を入れて取り組まなければいけないと思う。農業・漁業を含んだうえで全体の評価Aというのが少し気になる。

次に基本目標2について、空き家バンク0件が続いているが、どういう努力をされているか。市内の空き家について、全体的に把握をしているか。

<事務局>

認定農業者数の年度の推移をみると年間1~2人とかなり厳しい状況であると思う。目標値の設定根拠については、資料を持ち合わせていないため後日回答させていただく。

空き家バンクについては、市内の不動産屋に空き家バンクの趣旨を説明し啓発をしている。年間4~5件の売り手の相談があるようだが、なかなか条件が合わず契約に至っていない。市内の空き家の把握については、資料を持ち合わせていない。

<三浦委員>

ただいまの意見について、目標値が設定されたいきさつについては把握していないが、認定農業者数イコール農業者数ではない。認定農業者になると国の補助金などを有利に使えるので、農業者であるなら認定農業者として認められた方がいいということで認定農業者の制度がある。いまだに認定農業者でない農業者が多数いるということで、その方を取り入れるという目標であると思う。現状、メリットがないということで認定農業者をやめてしまう方もおり、また高齢化のため、現状維持で精一杯の状況である。

<是永委員>

4ページの施策①の観光交流まちづくりの推進について、浜名湖という風光明媚ないいまちだと思っており、土日などは湖畔沿いの道路は多くの自転車がいます。先日、滋賀県の彦根と長浜に行く機会があったが、多くの自転車が湖畔沿いの道路を走っていた。琵琶湖沿いの道路に自転車のマークがあり、走りやすいようになっていた。この観光のところで今は新居関所をうたっているが、最近の健康ブームで自転車に乗る方が多くなっているため、1周したら記念品の贈呈や、鷲津駅にレンタサイクルができたので、その活

用も含めながら積極的に取り入れてはどうか。

続いて移住定住のところだが、労働者からみると住宅の取得というのはいちばんの人生の中での大きな買い物である。20年前と比較すると性能がよくなったこともあり住宅の価格が上がっている。住宅を購入する方の年齢は下がっており、年齢が下がれば借入額も多くなっている。住宅利子補給制度はありがたい制度だと思う。資料2に記載があるが新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金などの新しい試みもあって、移住のPRになると思う。市長の新聞記事のコメントの中で、移住定住施策について新しい制度を考えますというのがあり、どんなイメージなのかこの場で答えられるものがあれば教えてほしい。

<事務局>

浜名湖一周のサイクリング事業の推進を図っていると聞いている。道路に青い矢印が表示されており、自転車の方への安全への配慮もされている。住宅の購入支援については、金融機関や住宅メーカーの方との意見交換をさせていただく中で補助が必要ではないかというご意見をいただいている。今年度から始まる新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金をきっかけに次の施策を検討していく。

<飯田委員>

基本目標2のところのKPIの達成状況について、先ほど是永委員からもご意見があったが、ある特定の施設を目的に来る人よりも、たとえば東海道を歩くとか街をめぐるツアーで来る方が増えているような気がする。関西の方から大型バスでやってくる方もおり、街歩きのニーズが高まっている。もちろん関所の入館者数というのもひとつの目安になると思うが、いくつかそういう目安になるような項目があると効果がわかりやすいのではないか。それから、空き家バンクについて、新居町で改装工事が始まっているところがある。いい事例として紹介してみるのもいいかと思う。

<事務局>

関所以外の指標も設定してはどうかということについて、次期の総合戦略策定の際には研究していきたいと思う。また、この空き家の事例については行政の介入ではなく民間で成立したものだと聞いているが、好事例として今後に生かしていきたいと思う。

[基本目標3、4について]

(質疑・意見交換)

<野村委員>

この総合戦略の目標は人口減少を食い止めることであるが、観光地として知名度を上げて人を呼び込むことは人口減少に歯止めをかけることとは少し違う気がする。自分の

住む家があって、遊びに来て別の場所へ帰っていくのが観光地であると思うので、そのところが総合戦略になるのかわからない。一方で基本目標3のところで合計特殊出生率をC評価と付けているが、国全体で見てもそうそう増えるものではないと思う。結婚前、第一子を生む前というのは行政に触れる機会はほとんどない。行政に触れて大事にされているな、子育て支援されているなど感じるのは第一子を生んでからだと思う。合計特殊出生率や年間出生者数の評価が悪いが、イコール住み良い市なのかどうかというのはあまり卑下しなくていいと思う。人口減少に歯止めをかけるということばかりではなくて、日本全体で人口減少が避けられない中で湖西市に住んでいることを幸せに感じる人を増やしていくというのもひとつの立派な取組であると思う。

<事務局>

観光で訪れていただいて湖西市の魅力を感じてもらい、その中から少しの人でもいいので住む場所として考えていただければと考えている。関係人口という取組の中でも生かされており「こさいフレンズ」等を展開していこうと考えている。また、人口減少は日本全体で進んでおり、湖西市に住んで幸せだと感じられるようなまちづくりをしていけるよう総合戦略や総合計画に取り込んでいく。

<竹島委員>

7ページの基本目標4の中のKPI施策①地域防災訓練参加者数について、参加者の年齢構成をつかんでおいた方がいいと思う。働き世代といわれる30代・40代の参加者が非常に少ないと伺っている。私も若い世代の方に参加していただくようお願いしているところではあるが、なかなか数字が増えていかない。特に若い方の参加率が悪い。人数をもって評価Bとなっているが、若い方の参加を促すような中身の検討をしてもらいたい。

<事務局>

人数でB評価としているが、実災害のときに動ける方というのは若い世代の方だと思うので、いただいたご意見は担当課に伝える。

<竹田委員長>

今の意見に関連して、年齢構成が分からなかったとしても、事業所としてこれだけ参加しているとか学校単位とかそういうのがあればおおよそ把握できるのではないかと思う。

<飯田委員>

今の防災訓練の指標について、今の防災訓練は形骸化しているように感じる。だいたい毎年同じようなことをやっていて、実災害のときに何が必要なのか、どこに避難すれ

ばいいかなど今の情報の満足度をはかることも重要なのかなと思う。

<事務局>

おっしゃるとおりかと思うので、今後研究させていただく。

(2) 総合戦略改訂(案)について

<事務局>

説明 資料2：湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業一覧
湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(質疑・意見交換)

<河田委員>

資料2の8ページ、事業通し番号70「子育て相談事業」について、来年度廃止すると市の担当から伺ったが、もう一度確認していただいた方がいいと思う。

<事務局>

担当課からはそのような話は聞いていないが、一度確認させていただく。

(全体を通して質疑・意見交換)

<野村委員>

先ほどの資料2についてだが、Wi-Fiステーションの整備について、より低コストで無駄のない整備方法を検討していくとの説明があったが、具体的に進んでいるのか。

<事務局>

防災のWi-Fiについては現段階では決まっていないが、今後どのような方法がいいのか検討していくと聞いている。

<長田委員>

観光のWi-Fiを市の施設に整備していくこととしている。民間については湖西の商工会と新居の商工会が組織化を検討しており、個人の商店、企業を中心にWi-Fi整備の準備をしているところである。民間はコストをかけずに整備、官はある程度個人情報を保護できる範囲内で整備を進めていく。

<野村委員>

官民協働ではなく、個別の整備なのか。

<長田委員>

方法としては別になるが、協働で広めていくというかたちで進めていく。

<竹島委員>

よく昼夜間人口に差があるということを知ることが、私も浜松から湖西市に移住した経緯がある。豊橋市、浜松市からの通勤者が多いが、市外に土地があるのに湖西市に住むというのはなかなか難しいと思う。土地の問題だけではなくて医療の問題、子育て支援の問題等も含めて総合的に判断していかないと市内に住んでいただくというのは難しいと思う。もうひとつ、コーちゃんバスの関係だが、利用者が少ない便があるということを知った。そうすると、ますます便の減少や廃止につながってしまう。交通会議の中ではコーちゃんバスを利用してほしいとお願いしているところではあるが、もっと利用者(市民)の声を聞いてより良いコーちゃんバスにしてほしいと思う。

<事務局>

おっしゃるとおり、家を建てる前の、これから子どもを生んで育てていこうと考えている世代をターゲットに取組を推進していかねばいけないと思う。コーちゃんバスについても市民の声を取り入れながら、デマンドなど実施しているところではあるが、そういった取組とあわせて方法を検討していきたいと思う。

<飯田委員>

資料2の事業通し番号20の「浜名湖観光圏事業」について、浜松・浜名湖DMOと組織の名前が変わってスタートしていると思うので、事業名も合わせて変えてはどうか。

<長田委員>

浜名湖観光圏事業は平成26年度から始まり今年度までということになっているが、全国13地区の銘柄を生かした観光振興をしていこうということで、3期にエントリーしようと事業を進めている。大きなくくりとしては、DMOも観光圏も進めていこうという状況である。

<是永委員>

資料2の事業通し番号2「浜名湖西岸土地区画整理事業」について、住宅地提供も検討していただければと思う。

<事務局>

浜名湖西岸土地区画整理については工業用地になるため住宅用地は含まれていないと

認識している。市内に住んでいただくということを考えると、やはり住宅の問題というのは大きな割合を占めると思うので、関係者の方との意見交換をしながらどのような施策を打つことができるのか検討していく。

5 連絡事項

次回の会議は、平成 31 年 7 月ごろを予定

6 閉会